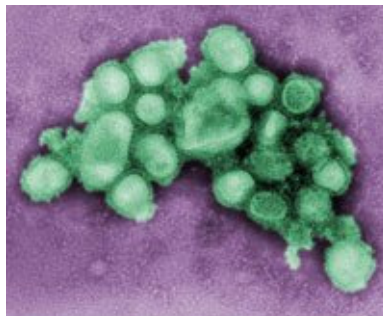


アークフラッシュされた全国48箇所の老人施設は9年間インフルエンザの発症が報告されておられません。

< * > <http://www.arc-flash.co.jp> アークフラッシュ NEWS をダウンロードによりご覧頂けます

豚インフルエンザ改名インフルエンザ A



改名の理由は豚肉業界に及ぼす影響が強いからとなんとも外的理由での改名となりました。アークフラッシュ NEWS ではズー————トインフルエンザの脅威について毎月皆様にお届けして参りましたがついとその日が来てしまいました。

冷静に冷静にと政府はテレビで言うておりますが、冷静と準備は違う次元の事です。冷静に判断すればするほど事態の深刻さに目を覆うばかりです。

最近、経営する会社オフィスと自宅をアークフラッシュ施工した安積さまにはこの事態が見えていたのでしょうか?! じつに見事な先見さで感服しております。自社の従業員の健康維持と家族の健康を守る姿勢は、即、実行する実行力、これこそ今後の日本が必要とするリーダーシップであろうと感じております。

韓国では国保健福祉家族省の疾病管理本部は1日、海外に最近渡航していなかった女性(44)から新型インフルエンザ(豚インフルエンザ)とみられるウイルスを検出したと発表した

新型インフルエンザによる世界各地の確定感染者は、1日までに509人に上った。メキシコで213人増えたほか、米国で22人、カナダで15人の新たな感染が判明した。一方、ペルー政府は同国唯一の感染確認例について誤診だったと訂正。感染が確定した国は11カ国となった

感染が世界に広がっている新型インフルエンザ(豚インフルエンザ)について、国立感染症研究所の田代真人・インフルエンザウイルス研究センター長は6日、「ウイルスは数か月前にメキシコで誕生し、一気に世界中に広まった可能性が高い」との見解を示した。遺伝子の解析から、アジアを中心に被害の出ている高病原性鳥インフルエンザ(H5N1

型)のような強毒性を獲得する可能性は低いとの見通しも改めて強調した。世界保健機関(WHO)の緊急委員会の委員でもある田代センター長によると、世界各地で採取され、遺伝子が分析された約30株の新型ウイルスを比較したところ、99.5%から100%の遺伝子配列が一致した。インフルエンザウイルスは、遺伝子が増変しやすいことが知られており、まだ変異が少ないことから、このウイルスが最近誕生したことが予想されるという。また、新型ウイルスは、人と鳥と豚(2種類)の計4種類のインフルエンザウイルス由来の遺伝子を持っていることが分かった。豚の体内で、ウイルスの遺伝子が混ざった結果、新型のウイルスが出来たと考えられるという。田代センター長は「メキシコは、米国の豚肉産業が豚の品種改良や種豚を作るために、様々な種類の豚を持ち込んでいる。異なるウイルスの接点となった可能性はある」と話している。

米テキサス州の保健当局は5日、同州内の女性(33)が新型インフルエンザ(豚インフルエンザ)感染で死亡したと発表した。米国人の死者は初めて。メキシコ人以外の死者も世界初。ポーランド、スウェーデン、グアテマラの3か国でも新たに感染確認され、世界で感染が確認された国・地域は計24、感染者数は計2131人に達した。死者は、米国とメキシコで計44人。感染者はカナダで201人、韓国でも新たに1人が確認され、計3人になった。死亡したテキサス州の女性は妊娠中で、持病があった。今月5日に入院先で死亡、検体からウイルスが確認された。同州では4月29日、メキシコ人男児が死亡しており、米国内での死者は2例目。米疾病対策センター(CDC)は6日、米国内の新型インフルエンザ感染者が41州で642人に達したと発表。日本人が多く訪れるハワイでも同日、3人の感染が確認された。感染者数の急増について、CDCのリチャード・ベッサー所長代行は6日の記者会見で、「各州で検査態勢が整い、本格的な検査が始まったことが大きな原因」と説明。ただ「新たな感染も全土で発生しており、今後は感染者数がさらに拡大する」との見通しを示すとともに、「他国の感染者数を見ると、警戒レベルのフェーズが(世界的大流行=パンデミック=を意味する最高の)『6』にならないければ驚きだ」と述べた。世界保健機関(WHO)が注目している欧州の感染者数は、スペインで81人、英国で32人になった。WHO当局者は、フェーズについて、両国の感染拡大の状況を見ながら、「近く『6』に引き上げる方向で検討が進んでいる」と語った。

●感染者が確認された国・地域

カッコ内は人数。7日午後1時現在

メキシコ (1112、死者42)			
米国 (642、死者2)	フランス (7)	スイス (1)	アイルランド(1)
カナダ (201)	イスラエル (5)	オランダ (1)	コロンビア (1)
スペイン (81)	イタリア (5)	香港 (1)	ポルトガル (1)
英国 (32)	韓国 (3)	デンマーク (1)	スウェーデン(1)
ニュージーランド (20)	エルサルバドル (2)	コスタリカ (1)	ポーランド (1)
ドイツ (9)	オーストリア (1)	グアテマラ (1)	
計 24か国・地域 (2131、死者44)			

中曽根弘文外相は 8 日午前の閣議後の記者会見で、米シカゴ在住の 6 歳の日本人男児が新型インフルエンザへに感染したことが確認されたと明らかにした。邦人の感染が判明したのは初めて。政府高官によると、米側から外務省に連絡があった

新型インフルエンザの脅威

今回の新型インフルエンザは、弱毒性のタイプで有った為に、感染者の数に比べて死亡者が多くなかったのは不幸中の幸いでありました。

しかし、それは偶然であって、今後発生するであろうインフルエンザが全てそうであるとは限りません。自分の身近に脅威を感じないと対応できない人々が多数の中、いかに自分の命と家族の命を他者に比べて優位に位置づけるかという事が、普段からの準備となっています。生命保険には安易に加入する人々がどうしてこのような脅威に準備しないのかが不思議な現象と写ってしまうのは私だけなのでしょうか

*** 発行責任者: 株式会社アークフラッシュ本部**

笹川 透

03-5337-8860 FAX 5337-7465 sasagawa@arc-flash.co.jp

過去のアークフラッシュ NEWS はホームページよりご覧になれます。